



2026 年 8 月 12 日

各 位

会 社 名 株 式 会 社 ラ キ ー ル
代 表 者 名 代 表 取 締 役 社 長 久 保 努
(コード番号：4074 東証グロース)
問 合 せ 先 取 締 役 副 社 長 松 本 英 晴
(TEL. 03-6441-3850)

2026 年 12 月 期 通期連結業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、最近の業績の動向を踏まえ、2026 年 2 月 13 日の「2025 年 12 月 期 決算短信」で開示した 2026 年 12 月 期（2026 年 1 月 1 日～2026 年 12 月 31 日）の業績予想を修正することとしましたので、お知らせいたします。

1. 当期の連結業績予想数値の修正（2026 年 1 月 1 日～2026 年 12 月 31 日）

	連 結 売 上 高	連 結 営 業 利 益	連 結 経 常 利 益	親会社株主に帰属 する当期純利益	1 株 当 たり 連 結 当 期 純 利 益
前回発表予想（A）	百万円 8,000	百万円 600	百万円 594	百万円 390	円 銭 50.89
今回修正予想（B）	8,000	0	△10	△383	△56.47
増 減 額（B－A）	0	△600	△604	△773	
増 減 率（％）	0.0%	△100.0%	－	－	
（参考）前期連結実績 （2025 年 12 月 期）	7,728	445	443	287	40.62

2. 修正の理由

売上高については、既にリリースした AI 関連製品である LaKeel Blu の引き合いは着実に増えてきており、同製品の販売開始に伴って AI エンジニアの需要も増えています。今後のフロービジネス（コンサルティングサービス及びプロフェッショナルサービス）の拡大と利益改善にも期待できると判断しており、通期連結売上高については当初予想を据え置きます。

一方、市場環境の変化をより早く感知し顧客ニーズに応えるべく、製品やサービス開発で先手を打つための AI 投資をより積極的に行う方針であり、下期も AI 関連製品やサービスの開発を前倒しに実施してまいります。そのため売上原価と販売費及び一般管理費が増加する見込みであることから、連結営業利益、連結経常利益について当初予想を修正いたします。

また、親会社株主に帰属する連結当期純利益については、本日別途開示いたしました「本社移転及び本社移転に伴う特別損失の発生に関するお知らせ」のとおり、本社移転関連費用（520 百万円）を特別損失として計上し、これに係る法人税等を計上する見込みであることから、当初予想を修正いたします。

3. 下期以降に向けて

下期以降も、市場環境の変化をより早く感知し顧客ニーズに応えるべく製品やサービス開発で先手を打つ

ため、AI 投資をより積極的に行う考えです。そのため、今後も AI 関連製品やサービスの開発を前倒しに実施してまいります。

具体的には、LaKeel AI Platform では LaKeel Blu のリリース及びオーバーナイト開発機能を既に完了しており、LaKeel HR では Process/Microtask エージェントの開発及び業務 OS となる「(仮称) LaKeel Ontology Platform」の開発に着手しています。特に LaKeel Ontology Platform は業務の自律化には欠かせない重要な基盤であり、すべての業務の OS となる画期的な製品と位置付けています。

これらの取り組みによって、まずは 2027 年の計画（売上 100 億円、営業利益 10 億円）という目標達成を優先したいと考えております。

※本日（2026 年 8 月 12 日）公表いたしました「2026 年 12 月期 第 2 四半期（中間期）決算短信」、「2026 年 12 月期 第 2 四半期及び上期決算説明資料」及び「本社移転及び本社移転に伴う特別損失の発生に関するお知らせ」も併せてご参照ください。

※上記業績予想は、現時点において入手可能な情報にもとづき作成したものであり、実際の業績等は、今後様々な要因によって異なる結果となる可能性があります。

以 上